

## 提言内容の各機関等への報告結果について

平成22年7月29日 公共施設再配置計画担当作成

月日及び報告先	主な質疑・意見等
7月2日(金) 部長会議	① 他にシンボル事業として考えている事業はあるのか。 [回答] 現段階では特にはない。
7月9日(金) 行財政改善推進委員会	① 「インフラ」、「ハコモノ」というような表現は、市民にわかりやすいか。注釈が必要ではないか。 [回答] 一般的に認知されていると考えている。
7月15日(木) 自治会連合会役員会	① 具体的な計画策定に当たっては、地域による運営や譲渡、小学校に高齢者施設を誘致するなどの検討をしてほしい。 ② 他市との比較において、利用状況のカウント方法が違うものがある。同じレベルに直してほしい。 [回答] 担当課から指摘を受けている。市の方針を作る際には、わかりやすく表示したい。 ③ 検討委員は、市外の人間が多い。市の施設を十分に把握しているのか。 [回答] 施設白書を基に、内容は十分に把握して検討している。また、委員会の開催場所も市内の公共施設を利用し、状況を把握してきている。
7月16日(金) 教育委員会会議	① 方針内容は、教育委員会の判断も拘束するのか。方針が示されても、できないものはできないと言うのも教育委員の役割ではないだろうか。 [回答] 教育委員会会議などを通じて意見を聴きながら方針を策定していきたい。 ② 検討委員会に市内居住者はいるか。 [回答] 現在居住している委員1名、最近まで居住していた委員が1名いる。 ③ 公民館の利用者数の捉え方が、他市とは違うという話を聞いている。 [回答] 担当課から指摘を受けているので、市の方針を作る際には、わかりやすく改めるが、秦野市の稼働率などが悪いことには変わりがない。 ④ 施設の統廃合の具体的な話は出ているのか。 [回答] 現在のところは、西中学校体育館の話だけだが、少子化が進めば、必然的に出てくるだろう。この先10年の計画は、年度内に作成する。
7月16日(金) 議員連絡会	① これだけの内容を市民に説明し、理解を得るためには年度内の計画策定は無理ではないのか。 [回答] パブコメ、タウンミーティング等を通じて理解を求め、予定どおり進めていきたい。 ② 施設の利用状況などまで市民に伝えなければ判断できない。 [回答] 昨年10月に公共施設白書を公表している。利用状況などのデータはその中に掲載している。

月日及び報告先	主 な 質 疑 ・ 意 見 等
7月21日(水) 社会教育委員会	<p>① 提言の内容は古い考え方である。生涯学習の本質を理解していない。文化程度の低い地域ほど文化から割愛していくという動きがあるが、秦野市民の文化に対する考え方を委員会として検討しているのか。また、公共施設はなぜ建設されたのか。今はその役割が失われているのかといったことを考慮して検討したのか疑問である。「ハコモノ」と言うこと自体わかっていない証拠である。また、義務教育が第一という発想自体が間違いである。生涯学習が前提にあり、義務教育がある。義務教育を受けられない人にどういう環境を作るのが生涯学習であり、公共施設がなぜ存在しているのかを大前提とする考え方を方針に入れていただきたい。</p> <p>② 公民館の大切さを理解していない。秦野市の公民館は11館あるが、7館が文部大臣賞を受けており、優秀な公民館とされている。公民館はまちづくりや生涯学習の推進に大きく貢献しており、もし公民館がなかったとしたら、文化程度がここまで向上しているとは考えられない。そうした公民館の役割についての程度勘案されているのか。</p> <p>[回答] この検討委員会は、何が大事かということに関してはニュートラルに考えてきている。社会教育委員会議の場では文化が大事だという意見が出る。当然のことだが、福祉関係の会議の場では福祉が大事という意見が、環境では環境のことが出てくる。どれが大事だということをやっていると今までと変わらないままとなる。だからこそ理論値、実現可能な数値を提言し、このとおりに削減をしていけばこれだけの床面積を残せるというものを示している。その次に優先順位として、まず義務教育を入れる、そして庁舎と、議論があったところだか、子育て支援の機能を入れることとなった。委員会ではそれ以外はその他という考えを示していたが、それでは市民に受け入れられないということで、優先という区分を入れることにしてもらった。しかし、優先というところに何を当てはめていくかということは、客観的評価に基づき市民が決めるという書き方をしている。この場では公民館が大切ということになるかもしれないが、17万市民の声を聞くと公民館は重要ではないという位置づけになるかもしれない。そういう中立的、客観的な考えに基づいて提言されていることを御理解いただきたい。</p> <p>③ 教育というものは義務教育だけではなく、社会教育という考えの中に義務教育というものがあると考え。そういう観点が世の中にはあるので、そこを入れた上で検討していただきたい。この計画に限らず、市の大事な計画は、突然出てきて意見を言えという。この計画においても、白書が出てすぐにプランが出るという形である。全体の予算などを含めて現段階で出ていると思うが、市民に対し十分な説明を行うと明記されているのに、これだけの内容をどれだけ時間をかけて説明を行えるのか疑問である。よくある手</p>

月日及び報告先	主 な 質 疑 ・ 意 見 等
	<p>段として、ホームページに素案を出し、パブリックコメントや地域ごとの行政の説明会や懇談会を開催するというパターンですべてを終えるということがある。市民に意見を聞く、市民のためとっているが、その時に意見が出なかった、賛同が得られたからという行政のアリバイ作りに使われていると感じている。意見を聴く時間が短すぎる。</p> <p>[回答] 公共施設の更新問題というのがいかに根深いものなのか理解していただきたい。このままでは義務教育すら維持できないということであり、それを何とか残すという考え方を示したものである。それ以外の施設に対しておろそかにしているというわけではなく、公共施設の枠の中で道路、下水まで何とかしようとする義務教育すら捨てるをえなくなるという現実がある。そういう現実の中での一定の結論であるので御理解をいただきたい。説明の時間が不足しているという点では、時間をかければかけられるのだが、総合計画などとのタイミングもあり、駆け足になっているということは反省しなければならない。再配置計画に関して言えば、昨年10月の白書の公表段階からすべての情報をホームページで公開し、意見を伺える体制を整えており、日常的に意見を伺い、微修正できるようにしている。また、8月中旬からパブコメ、タウンミーティングを実施する。方針の決定は9月末になる。</p> <p>④ 震災のときは、まず、道路や上下水道の復旧が最優先で、ハコモノは後回しになるだろう。そういう点では、インフラの更新はどれくらいかかると見込んでいるのか。</p> <p>[回答] 不確定要素が多いが、提言の中での試算では、6メートル未満の道路の舗装を30年間もたせたとしても、道路と橋で11億円、下水道も11億円が必要になると試算している。このお金を公共施設の中から生み出そうとするのは不可能であり、義務教育を切り捨てなければならないという状況になってしまう。インフラに目を向けてみてもそれだけお金がかかると想定されるのであり、インフラによりハコモノをあきらめざるを得ないという状況が来ることも否定できない。</p> <p>⑤ 計画は、10年計画となっているが、5年ないし3年の計画にしてもよいと感じている。10年ごとでは、世の中がどのように変貌していくか想定できない。</p> <p>[回答] 基本計画は10年だが、実行プランを5年で区切り、5年ごとに検証することになっており、細分化して計画する予定である。</p>

※ 主な質疑・意見等の欄は、公共施設再配置計画担当の職員が説明員として出席した際のメモを基に作成したものであり、各会議の事務局が作成する会議録の内容とは表記が異なる場合があります。